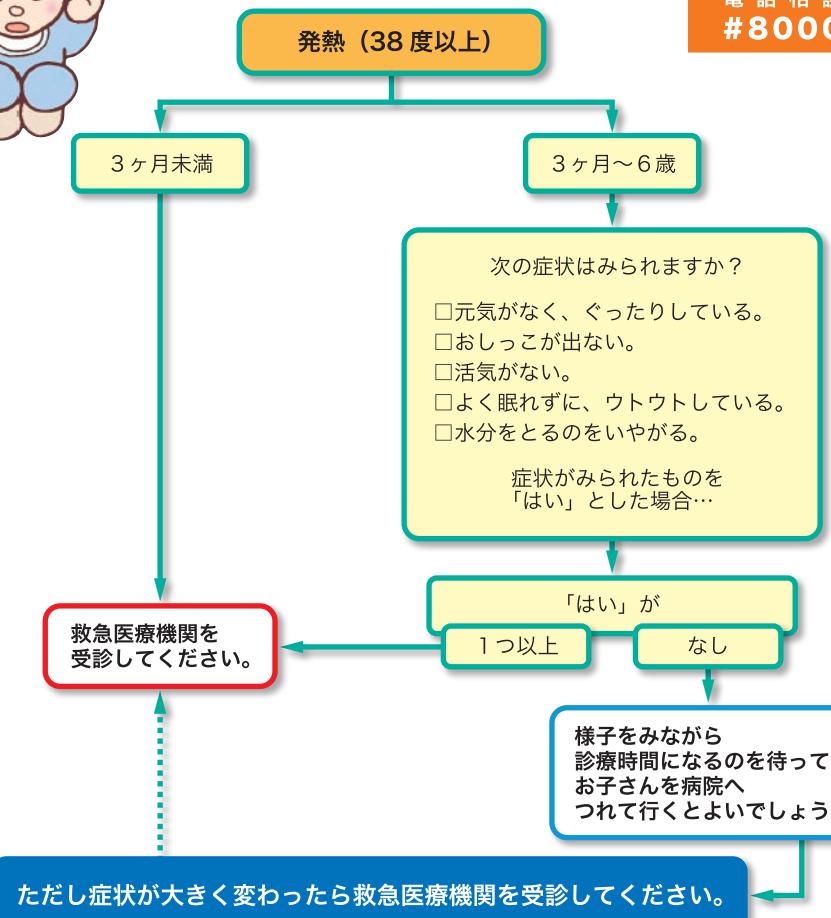




① 発熱（38度以上）



お薬を与えるときの注意点

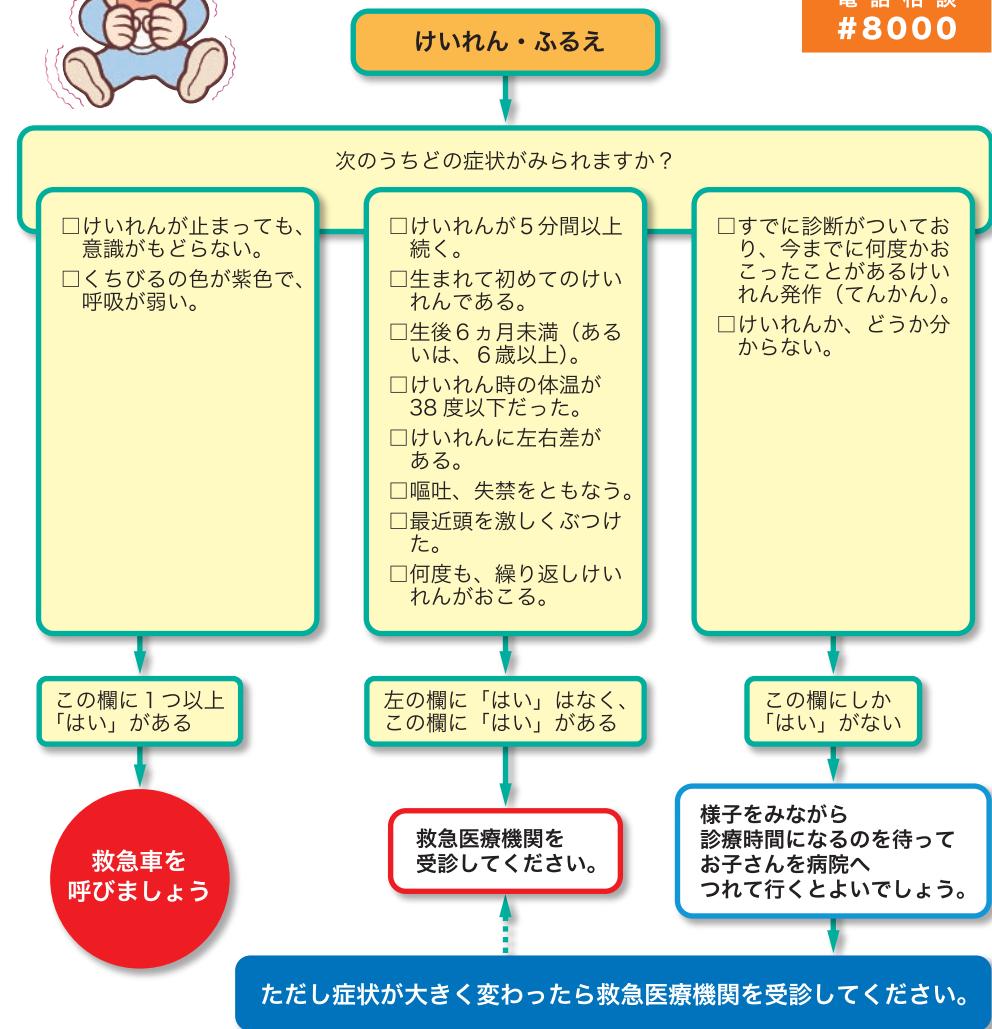
- 解熱薬には、アスピリン、ポンタール、ボルタレンは使わないでください。

発熱のある時の対処法

- 熱の出始めは温かめに、熱が出きたら涼しくしてあげましょう。
- 暑そうなら涼しく、寒そうなら温かくしてあげましょう。
- 水分補給をこまめにしましょう。
- 気持ちよさそうなら、冷やしてあげましょう。
- 着替えもこまめにしましょう。
- 熱があっても元気そなれば、解熱剤は使わないようにしましょう。



② けいれん・ふるえ



けいれん・ひきつけの応急処置ポイント

- 顔を横向けにして、衣類をゆるめましょう。
- 体を揺すったり、たたいたりしないようにしましょう。
- 口に割り箸や指を入れてはいけません。

けいれん・ひきつけの観察ポイント

- いつからどんなけいれんが、何分間つづいたか？
- けいれんが、右半身、左半身だけのような左右差がないか？
- その時の体温は何度であったか？